

令和7年度 瑞穂町小学校長会

I 令和7年度の瑞穂町小学校長会の活動方針

○瑞穂町教育基本計画（学校教育）「みずほっ子の目標」

み…みずほを愛し 発展させるひと

ず…ずっと社会にかかわる 優しいひと

ほ…ほがらか 明るく 夢を語る人

○学力向上、いじめ・不登校0、「みずほ学」、地域学校協働活動推進

○小中連携教育の推進

II 活動・取組

1 構成と主な活動

本校長会は、町内の公立小学校5校で構成する。

定期的な活動として、瑞穂町教育委員会主催の校長連絡会が毎月1回開催され、その後、小学校長会を開催している。小学校長会には、必要に応じて町教育委員会関係者にも出席いただき、情報交換や課題解決のための協議を行っている。

2 小中連携教育

(1) 瑞穂町小中学校長会の実施

町内の中学校2校の校長と合同で小中学校長会を、月1回実施し、情報交換や協議等を行っている。

(2) 瑞穂町公立学校教育研究会の実施

瑞穂町の公立小中学校教員全員が、各教科等11の専門部に別れて所属し、研究を推進する。研究授業は年3回実施し、小学校教員は全て悉皆で参加する。

3 校長会自主研究推進

(1) 学校給食センターと連携した食育の推進

・研究主題…「学校給食センターとの連携による効果的な食育指導の推進」

・研究内容…連携についての実態調査

担任と栄養士による家庭科授業

次年度以降、食育計画の改善提案

(2) 西多摩郡・瑞穂町公立小学校長合同研修会

・年1回、3町1村、11校の校長が講師を招いての研修と情報交換を実施する。

・研修テーマ…「これからの学校経営と校長の役割」

講師 青梅市立似里中学校 校長 田中 暁 先生

III 特色ある活動等

1 「学びのテーマパーク」

地域学校協働活本部主催。4年生以上の放課後の自主学習の場として教室を開放し、地域人材をスタッフとして、年間30回程度（1回1時間程度）実施している。町教育委員会と連携し、自主学習の成果を発表する機会として「ノートまとめコンクール」を開催している。

2 ふるさと学習「みずほ学」

本町の自然や文化を大切にし、郷土を誇れる子ども、地域社会の一員としての役割を担う子どもの育成を目指す。国語科や社会科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動等教育活動全般を通して推進している。本町ならではの特色ある学習を各校が創出、実践している。